

LS フィンチューブ
取 扱 説 明 書

勝 川 熱 工 株 式 会 社
HIGASHIOSAKA OSAKA JAPAN
〒 5 7 8 - 0 9 2 1
大阪府東大阪市水走5丁目2-32
TEL 072-967-2255
FAX 072-967-2256

LS フィンチューブ取扱説明書

1. 取扱上による諸注意

1) 加工について

本製品は曲げ加工などの加工を想定しておりませんので加工は行わないようにしてください。

2) 減圧装置の設置

流体の圧力を一定とするための圧力調整弁を取り付けて制限圧力以内で運転してください。

3) 流体入口側バルブの安全操作

機器始動時のバルブ操作は徐々に指定圧力まで開けてください。

急激なバルブ操作は本製品にウォーターハンマーによるショックングを起こし、破裂の原因となり、製品の寿命も短くなります。

4) 流体の温度コントロールバルブの選定

自動にて流体の温度コントロールをする場合、電磁弁による ON-OFF 制御ではなくてモーターバルブ又は、温調弁を使用して機器内の圧力変化を出来るだけ小さくして下さい。

5) 運転稼働終了後、又は定期点検時には、管内部の流体を排出して下さい。

運転停止時には、流体に含まれる水分の凍結による管の破損、または長期の流体の滞留による腐食にて管が損傷する恐れがありますので必ず排出しておくようにして下さい。

2. 保守点検の方法

1) フィン部の目詰まり

フィン部に汚れ、目詰まりが発生しますと、熱伝達率が低下して熱交換効率が悪くなります。

その際には、本製品を高圧エアにて洗浄して下さい。

高圧エア洗浄をすればきれいに汚れを落とす事が出来ます。

以 上